

第12回 三國湊夜咄会

三国祭に関する 卒業研究報告会

5.21(土)

19:00- @UDCS

参加無料・申込み不要

卒業論文：

「祭礼資源」の分布からみた 地域の「自立性」に関する研究

三國神社例大祭における各やま番区の運営実態と山車管理の比較を通して

卒業設計：

帯の幅ほどある街で

三国祭の「山車蔵」の点在性を活かした街づくりの提案

《同時開催》 『三国祭に関する特別展示』 主催：UDCS 共催：坂井市

■期間 5月20日(金)・21日(土) 午前9時から午後5時まで

■場所 福井銀行 三国本町出張所 (旧森田銀行本店 裏)



発表者：

岸本 晃司

大阪大学工学研究科
建築コース 修士1年
(三国町出身)

僕は高校生まで三国で生まれ育ち大学生になって大阪で建築・都市の勉強をしています。小さい頃には当たり前だと思っていたお祭りや三国湊の街並みを、大学で学んだ知識を踏まえて見返すととても新鮮で真新しいものに感じられました。卒業論文では「やま番区」ごとの比較から、現状の地区割で祭を維持していくことの重要性について述べ、卒業設計では三国祭の17棟ある「山車蔵」を小さな公共施設として再編することで、去年一年間にわたって大学の卒業研究を通じて、どうすればこの街と祭が発展し、将来にわたって受け継いでいけるのかについて自分なりに考えてみました。



当日の様子は、後日 YouTube でアーカイブ配信を行います。UDCSのHP[イベント・ニュース]および Facebook 等でご案内いたします。



主催・お問合せ

UDCS アーバンデザインセンター坂井

TEL 0776-50-3300 <http://www.udcs.jp>

